

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童サポートハウスConte					公表日		2025年 5月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5							
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	土曜日の開所を停止し、平日の5日営業にすることで、シフトを無くし毎日5名体制で営業できるように変更しています。	在籍職員は6名だが、1名は育休で休んでいる為、実質5名で業務を進めている状況。求人を出して増員予定だが、なかなか応募者がいない為、人材紹介業者の利用を予定しています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	出来るだけ、利用者の障害特性に合わせた環境作りに意識して取り組んでいます。	建物の構造上、踏み台を使った段差の緩和等の工夫には取り組んでいますが、階段等のバリアフリー化には対応していません。※今のところ対象児童がいない為。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5							
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5							
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5							
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5							
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	現在は、保護者評価・自己評価を参考にしながら業務改善に努めています。	現在、第三者による外部評価は行えていません。今後、外部評価を行ってもらえる方を選考し、決まり次第実施する予定です。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5							
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5							
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5							
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5							
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5							
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5							
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5							
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5							

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	支援終了後には、終了後の業務で時間が確保できない為、次の日の朝のミーティングで前日の振り返りや情報共有を行っています。	職員全員そろっての振り返りが出来ない。（※その理由として、スタッフの勤務時間のずれがある為。）
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	4		児童発達支援センターの役割を十分に理解できていない状況。どのような場面で連携していいかわからないです。 今後は基幹相談支援センターに助言をもらいながら、児童発達支援センターとの連携を模索していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	近隣の同業施設（児童発達支援事業所）の行事に参加したり、一緒に交流したりなどは定期的に行っています。	地域と交流する機会がなかなか少ない状況。 利用児童の中には、施設を利用していることを知られたくないご家庭もある為、安易に参加できないという理由もあります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	毎日の送迎やお迎え等の際に、保護者とは情報共有しています。また、連絡帳を活用しての情報共有を行っています。	スタッフによっては、ご家族との連携の仕方がまだわからない方もいる為、今後職員会議等で連携方法や関わり方について話し合う機会を設けます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	その都度、家族が困っていることや悩んでいることについては情報共有してもらい、助言やアドバイスをを行っています。	現状としては、プログラムとして専門的に研修会等の機会を設けることが出来ていません。今後、講師等を選考して企画出来るよう取り組んでいます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	定期的なモニタリングや都度の相談の際にサポートさせてもらっています。また、気軽にLINE等を活用した相談にも対応しています。	定期的には行っていないが、その都度家族や利用児童の状況に応じてサポートしています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	ペアレント・トレーニングや親子交流会を兼ねた「色彩知育トレーニング親子体験会」を予定していましたが、会場の予約が取れず延期になってしまったため、再度計画を進めていく予定です。	現状では、父母会・保護者会などの活動は行っていますが、今後父母や利用児童を対象とした研修会・交流会等を企画していく予定です。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	利用児童・保護者に配慮して、地域住民を巻き込んだ事業運営は行っていません。 ※スタッフ・管理者などは地域住民との交流・会話等は出来ています。	利用児童のいろいろな都合（成育歴等が絡んだ理由）で、地域住民（関係者以外）を施設に招待することが出来ない状況で、今後行う予定はありません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	マニュアル関係に対する研修会、訓練等は毎年計画して実施しています。	マニュアルに関わることについては定期的に職員会議・法人合同会議等で周知しています。また、新人職員に対してもその都度説明等を行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			